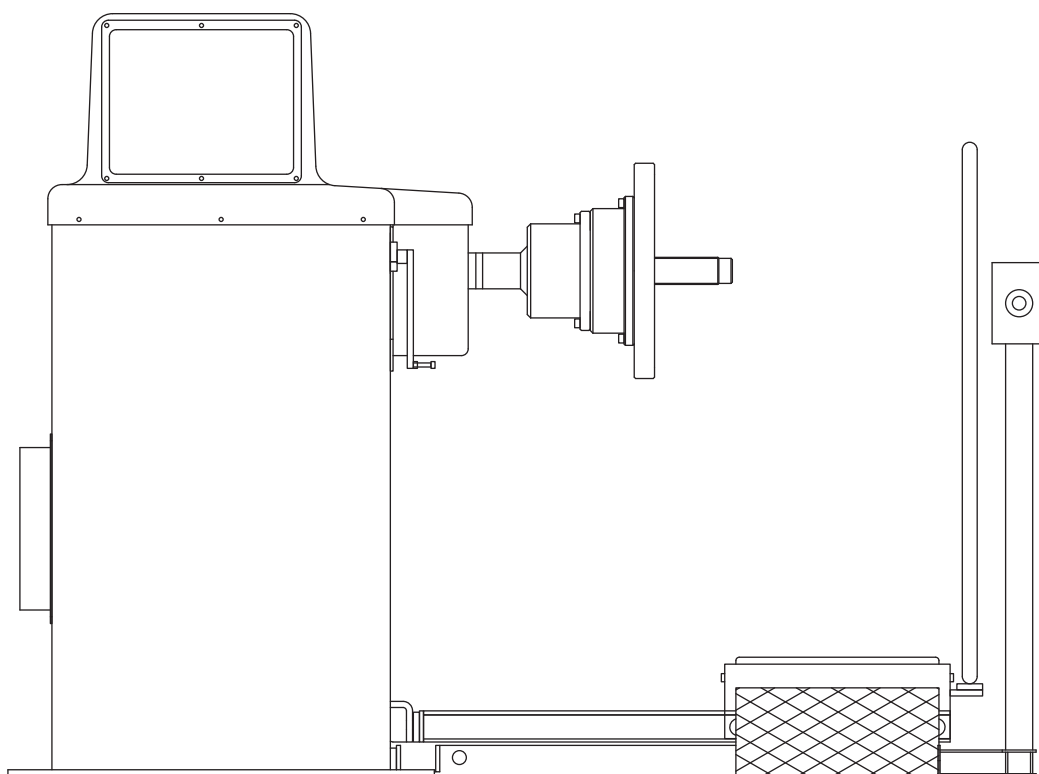


取 扱 説 明 書

TB・LT・PC COMPUTER WHEEL BALANCER

TBm-517



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。



警 告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1)警告ラベル貼付位置・内容	3
(2)危険・注意事項	5
(3)一般的な注意事項	6
(4)設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1)本体部の名称	7
(2)操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1)ホイールの装着手順	9
(2)測定モードの切り替え	11
(3)リム幅表示のinch・cmについて	11
(4)データーの入力方法	12
(5)測 定	16
(6)再演算機能	16
(7)ロック解除の方法	16
(8)FINEモード	16
(9)表示の切り替え	16
6. 標準付属品	17
7. 定期点検	18
(1)定期点検	18
(2)消耗品	18
8. 故障と処置	18
9. 仕様・本体寸法	21
10. 製品保証規定	22
(1)保証規定	22
(2)保証請求方法	22
(3)アフターサービスについて	23
(4)設置(据付)及び移動について	22

1. まえがき

この度は弊社のホイールバランサーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分なご理解のうえ正しくご使用ください。

尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き万一紛失・汚損された場合は、速やかに購入のうえ、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

このホイールバランサーは大型バス・トラックのホイールバランスを測定、修正することの出来るホイールバランサーです。

尚、オプション部品を取り付けることによって、ライトトラック・普通乗用車のホイールバランスの測定、修正が可能です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用してください。



危 険……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



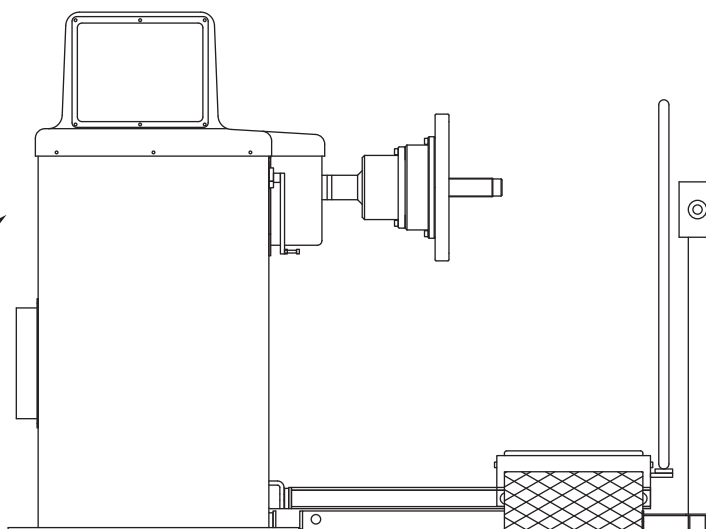
注 意……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 警告・注意ラベルの貼付位置・内容



注 意

警告ラベルは大切に使用してください。剥がれたり汚損した場合は速やかに購入のうえ、正しく貼付してください。

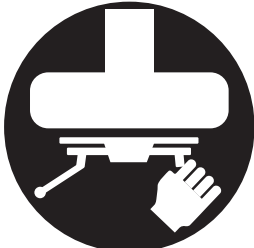
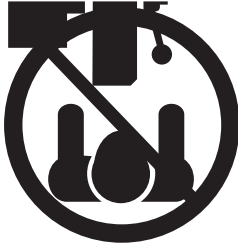


警告・注意ラベル貼付位置

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバランスの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

警告ラベル内容

※下記警告ラベルが本体に貼付されています

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性が あります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルンサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行ってください。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ストップスイッチを押し、直ちに停止させてください。
- (3)センター軸が緩んでくるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認してください。
- (4)ウエイトはしっかりと指定場所に取り付けてください。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等は全て取り除いてください。
- (6)落雷時には電源を必ず切ってください。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (7)本機を清掃する場合は、水洗いを絶対にしないでください。
- (8)本機を移動する場合は、主軸を持って移動したり主軸に衝撃を与えないでください。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。
元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には
端子等、通電部品に絶対触れないようにしてください。
※死亡又は重傷の可能性があります。



(3)一般的な注意事項

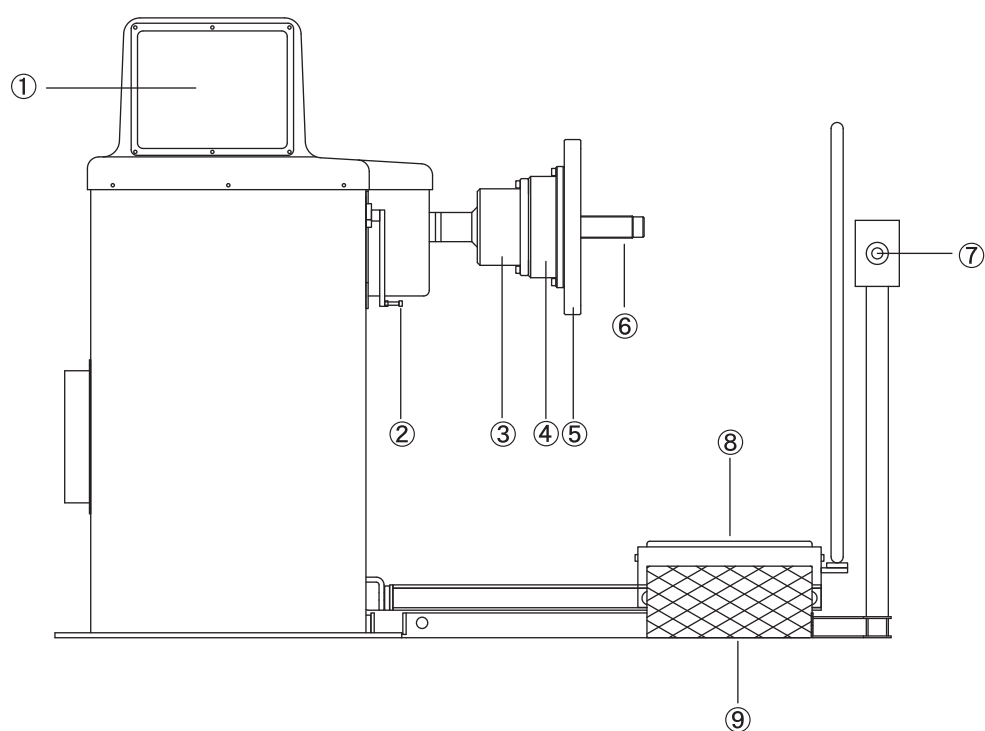
- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用してください。
- ②このホイール balanser は使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異常な状態の時は、ホイール balanser の使用を禁止して電源を切り、お買い上げの販売店に連絡してください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので、屋外設置や水による洗浄は避けてください。
- ⑥このホイール balanser はタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないでください。

(4)設置上の注意

- ①本機の据付は平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルトでしっかりと固定して使用してください。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり、正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
 - ・雨水のかかる場所
 - ・水をよく使い湿気の多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・特にほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸を持って移動したり、主軸に衝撃を与えないでください。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。
尚、ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ⑤本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にしてください。

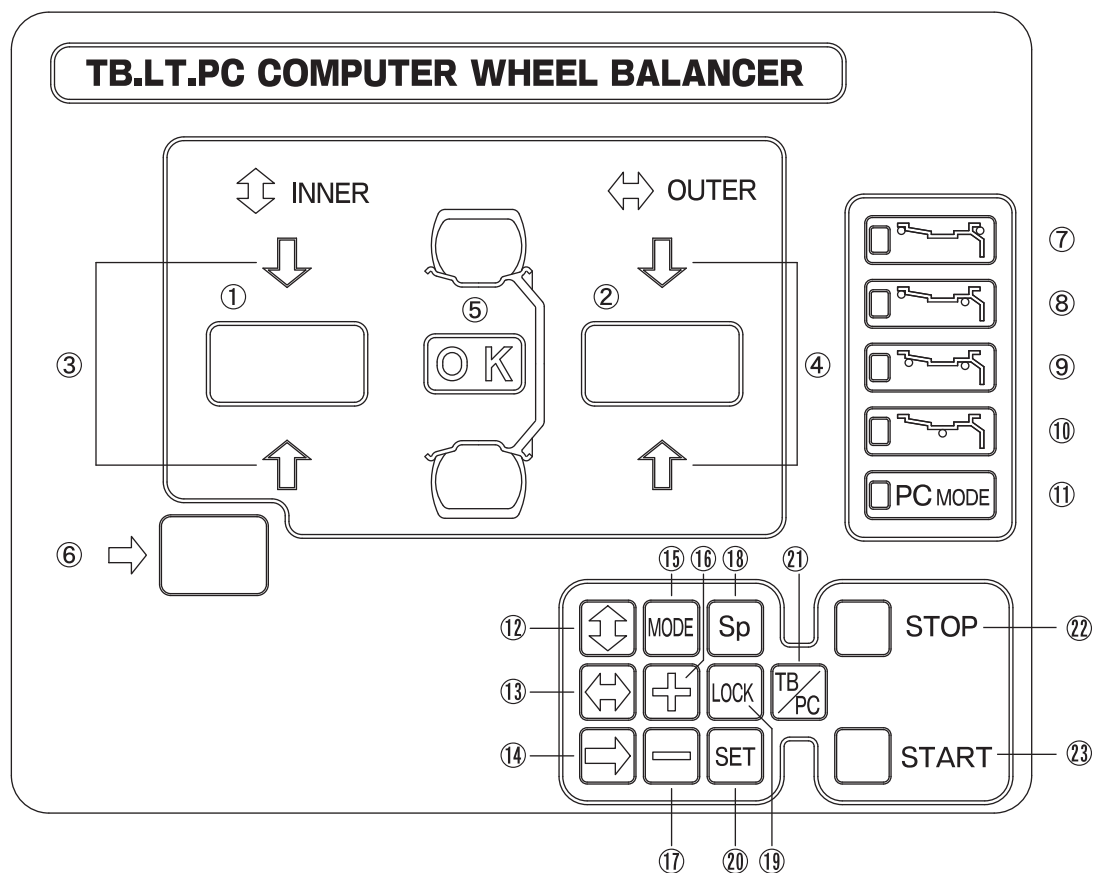
4. 各部の名称

(1) 各部の名称



- ①表示パネル
- ②ディスタンススケール
- ③主軸
- ④LTスペーサー
- ⑤TBスペーサー
- ⑥センター軸
- ⑦リフト操作スイッチ
- ⑧タイヤ台
- ⑨シューター

(2)操作部の名称



- | | |
|----------------------|-------------------|
| ① イン側グラム表示・リム径表示 | ⑬ リム幅入力スイッチ |
| ② アウト側グラム表示・リム幅表示 | ⑭ ディスタンス入力スイッチ |
| ③ イン側ポジション表示 | ⑮ バランス測定モード切替スイッチ |
| ④ アウト側ポジション表示 | ⑯ アップスイッチ |
| ⑤ OK表示 | ⑰ ダウンスイッチ |
| ⑥ ディスタンス表示 | ⑱ Spスイッチ |
| ⑦ 両面打ち込みモード | ⑲ ロックスイッチ |
| ⑧ イン側打ち込み・アウト側貼付けモード | ⑳ セットスイッチ |
| ⑨ イン側貼付け・アウト側貼付けモード | ㉑ TB/PCモード切替スイッチ |
| ⑩ スタチックモード | ㉒ ストップスイッチ |
| ⑪ PCモード | ㉓ スタートスイッチ |
| ⑫ リム径入力スイッチ | |

5. 操作手順

(1) ホイールの装着手順

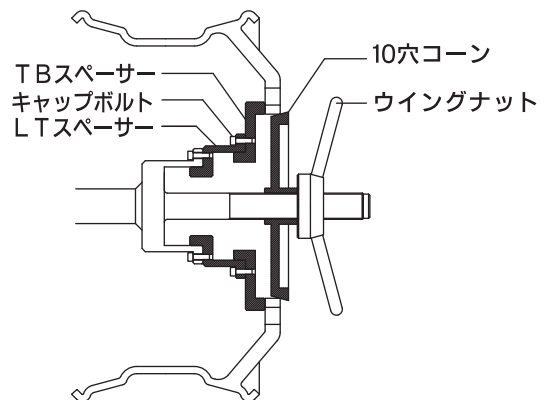


注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いてください。
ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けてください。

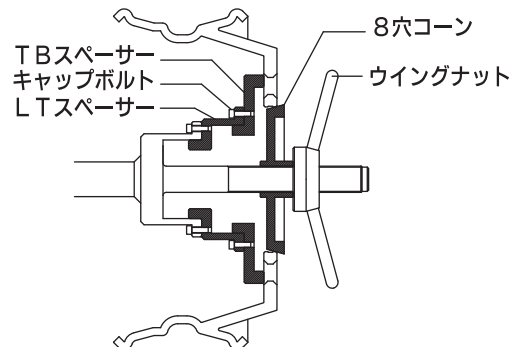
(A) 10穴ホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。
LTスペーサーにTBスペーサーをキャップボルトで固定します。
測定する10穴ホイールを10穴コーンとウイングナットで固定します。



(B) 8穴ホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。
LTスペーサーにTBスペーサーをキャップボルトで固定します。
測定する8穴ホイールを8穴コーンとウイングナットで固定します。



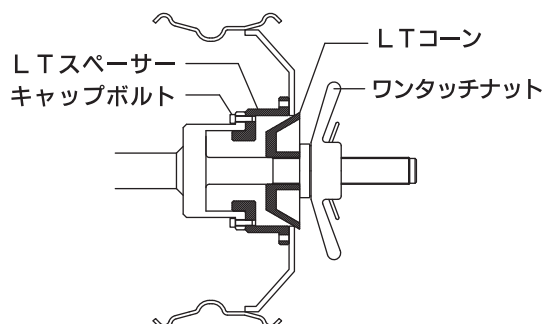
注 意

10穴ホイールと8穴ホイールを装着する場合は、必ずウイングナットで固定してください。
ワンタッチナットで固定すると、回転中ナットが緩む恐れがありますので、ワンタッチナットは使用しないでください。

(C) L Tホイールの場合

主軸にL Tスペーサーをキャップボルトで固定します。

測定するL TホイールをL Tコーンとワンタッチナットで固定します。



(D) P Cホイールの場合

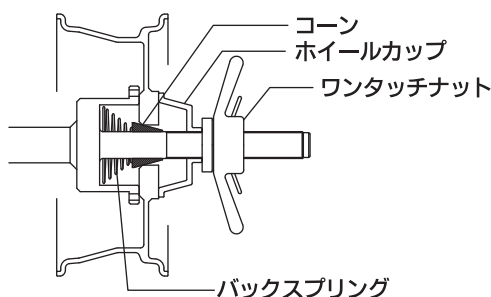
(1) バックコーンとして使用する場合

図①のようにセンター軸にバックスプリングとホイールのハブ穴に合ったコーンを入れホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーをはめ、ワンタッチナットで締めつけます。この時コーンが奥まで入り込むような場合はバックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用してください。（バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします）

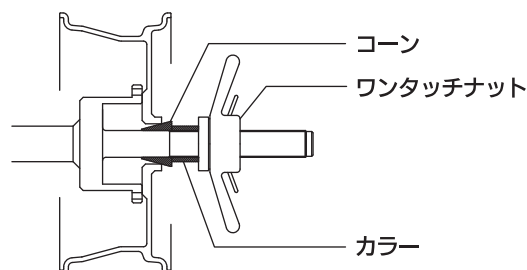
(2) フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットでホイールを締めつけます。

【①バックコーンの場合】



【②フロントコーンの場合】



注 意

ワンタッチナットを緩めてホイールを外すときは必ず最初に少しワンタッチナットを緩めてからレバーを握って外してください。

緩めなくてレバーを握るとワンタッチナット・センター軸を損傷させる恐れがあります。

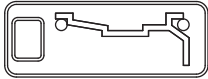
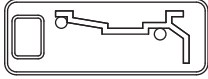
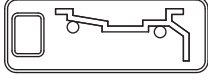
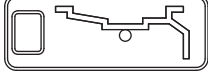
(2)測定モードの切り替え

電源投入時は、T B・L Tモードです。(P Cモードランプ消灯)

 スイッチを押すと、P Cモードのランプが点灯し、P Cモードになります。

再度  スイッチを押すと、P Cモードのランプが消灯し、T B・L Tモードになります。

 スイッチを押すと①—②—③—④—①の順にバランス測定モードが選択されます

- ①  両面打込モード
- ②  イン側打ち込み・アウト側貼付け
- ③  イン側貼付け・アウト側貼付け
- ④  スタチックモード
-  P Cモード



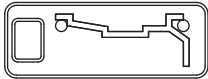
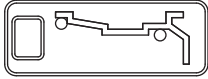
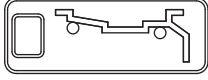
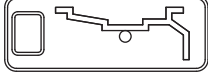
注 意

T B・L TモードとP Cモードでは測定回転数が異なります。タイヤ・ホイールに応じたモードを選択しなければ、正確なバランス測定は行えません。

(3) リム幅表示の inch・cm について

この機種は、inch・cm の表示がありませんので、下記のことにご注意ください。

 は各モードによって次のようになります。

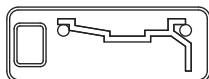
-  inch 表示
-  cm 表示
-  cm 表示
-  表示無し

(4) データーの入力方法

データーの入力方法は T B・L T モードと P C モードは同じ入力方法です。

A. 両面打込の場合

 を両面打込モードにしてください。



1. ディスタンス(出寸法)の入力

スケールのヘッドを内側の I N 側打ち込み位置に当てます。

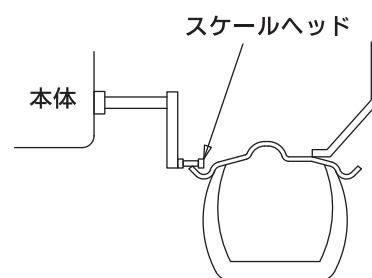
ピーという音と共にディスタンスが入力されます。

なお、ゲージヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますのでこのような場合はゲージを戻してから再度セットしてください。

(約 1 秒間停止しているとセットされます)

ディスタンスゲージがセットされたら、ゲージを確実に元に戻してください。

(戻ってなければ I N 側に E - E と表示してスタートしません)



2. リム径の入力

 スイッチを押し   スイッチでホイールに明記されているサイズを設定し

 スイッチを押してください。

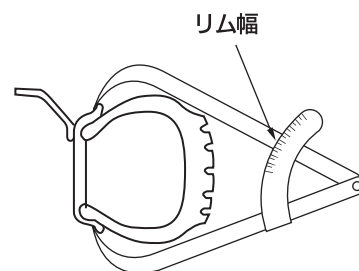
  スイッチは、0.5 単位で増減します。

3. リム幅の入力

タイヤパスを図のよぶに、イン・アウト両側のリムに当てゲージの幅を読み取ります。

 スイッチを押し   スイッチで読み取った値に設定し  スイッチを押してください。

  スイッチは、0.5 単位で増減します。



●ディスタンスの手動入力の場合

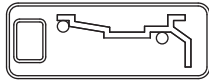
スケールのヘッドから I N 側打ち込み位置までを定規で測定し、 スイッチを押し定規で測った値を c m で入力してください。

(例えばディスタンスが 1 0.5 c m ならば)

     と押してください)

B. イン側打ち込み・アウト側貼付けの場合

MODE をイン側打ち込み・アウト側貼付けモードにしてください。



1. ディスタンスの入力

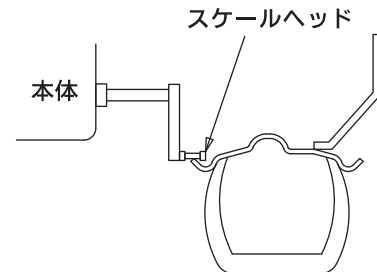
スケールのヘッドを内側の I N 側打ち込み位置に当てます。ピーという音と共にディスタンスが入力されます。

なお、ゲージヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますのでこのような場合はゲージを戻してから再度セットしてください。

(約 1 秒間停止しているとセットされます)

ディスタンスゲージがセットされたら、ゲージを確実に元に戻してください。

(戻ってなければ I N 側に E - E と表示してスタートしません)



2. リム径の入力

スイッチを押し スイッチでホイールに明記されているサイズを設定し **SET** スイッチを押してください。

スイッチは、0.5 単位で増減します。

3. リム幅の入力

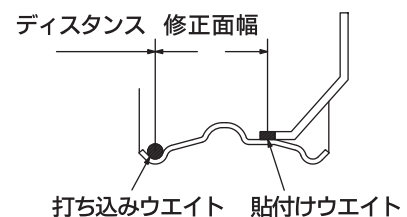
図のように I N 側のウエイト打ち込み位置から O U T 側のウエイト貼付け位置までの修正面幅を定規で測定し値を読みとります。

スイッチを押し スイッチで読み取った値に設定し **SET** スイッチを押してください。

単位は cm で入力してください。

スイッチは、0.5 単位で増減します。

(例えば修正面幅が 1 4.5 cm ならば【 1 4 . 5 】で **SET** スイッチを押してください)



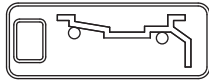
●ディスタンスの手動入力の場合

スケールのヘッドから I N 側打ち込み位置までを定規で測定し、 スイッチを押し定規で測った値を cm で入力してください。

(例えばディスタンスが 1 0.5 cm ならば 1 0 5 **SET** と押してください)

C. イン側貼付け・アウト側貼付けの場合

MODE をイン側貼付け・アウト側貼付けモードにしてください。



1. ディスタンス（出寸法）の入力

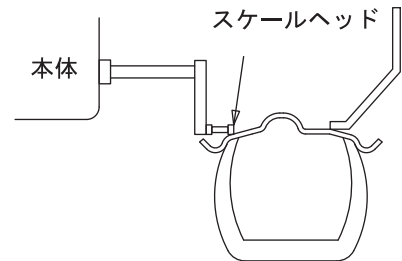
スケールのヘッドを内側の I N 側貼付位置に当てます。ピーという音と共にディスタンスが入力されます。

なお、ゲージヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますのでこのような場合はゲージを戻してから再度セットしてください。

（約 1 秒間停止しているとセットされます）

ディスタンスゲージがセットされたら、ゲージを確実に元に戻してください。

（戻ってなければ I N 側に E - E と表示してスタートしません）



2. リム径の入力

スイッチを押し スイッチでホイールに明記されているサイズを設定し

SET スイッチを押してください。

スイッチは、0.5 単位で増減します。

3. リム幅の入力

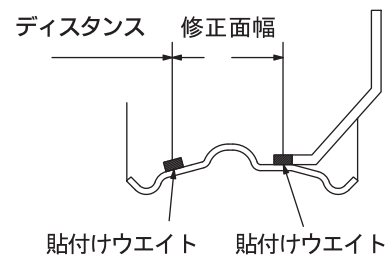
図のように I N 側のウエイト貼付け位置から O U T 側のウエイト貼付け位置までの修正面幅を定規で測定し値を読みとります。

スイッチを押し スイッチで読み取った値に設定し **SET** スイッチを押してください。

単位は cm で入力してください。

スイッチは、0.5 単位で増減します。

（例えば修正面幅が 1 4.5 cm ならば【1 4.5】で **SET** スイッチを押してください）



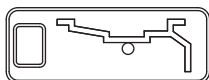
●ディスタンスの手動入力の場合

スケールのヘッドから I N 側貼付位置までを定規で測定し、 スイッチを押し定規で測った値を cm で入力してください。

（例えばディスタンスが 1 0.5 cm ならば **1** **0** **5** **SET** と押してください）

D. スタチックモードの場合

 をスタチックモードにしてください。



リム径の入力

 スイッチを押し   スイッチでホイールに明記されているサイズを設定し

 スイッチを押してください。

  スイッチは、0.5単位で増減します。

スタチックではリム径のみ入力するだけで結構です。

(5)測定

- ①タイヤ・ホイールを固定します。
- ②測定モードを選択します。
- ③ホイールデーターを正しく入力します。
- ④STARTスイッチを2回続けて押すと、ホイールは回転します。測定が終わるとアンバランス量が表示されて自動停止します。
- ⑤バランスを取る最初の側を選択します。ポジション表示の位置に従いホイールを手で回し、ウェイト取付位置にくるとグラムが点滅しブザーが鳴ります。
点滅位置でのホイールの真上（12時の位置）にウェイトを取り付けます。
- ⑥反対側も同様の作業を行います。
- ⑦両方のウェイトを取り付け終えたら、再度測定して000・000表示しOK表示が点滅したら終了です。

(6)再演算機能

ホイールデーターを間違えて入力して測定した場合、再度タイヤを回して測定しなくても再演算機能を使えば正しいグラム・位相を求める事ができます。

測定終了後、正しいホイールデーターを入力して  スイッチを押し **SET** スイッチを押せば正しいグラム・位相の表示になります。

(7)ロック／解除の方法

LOCK スイッチを押すことにより、アンバランス位置でロックされます。ロックするのは約20秒間ロックして、その後解除されます。また、ロック中に **LOCK** スイッチを押すとロック解除します。

(8)FINEモード

電源を入れたときのグラム表示はTB・LTモードの場合10g単位、PCモードの場合5g単位になっています。

Sp スイッチを押し **SET** スイッチを押すと、TB・LTモードの場合5g単位、PCモードの場合1g単位に変わります。

再度同じ操作を行うと、電源投入時の状態になります。

(9)表示の切り替え

イン側グラム表示とリム径表示、アウト側表示とリム幅表示がそれぞれ兼用になっていますので注意してください。

リム径表示、リム幅表示の状態で  スイッチを押し **SET** スイッチを押すとグラム表示になります。また、測定を行うと必ずグラム表示になります。

グラム表示の時  スイッチもしくは  スイッチを押し、**SET** スイッチを押すとリム径、リム幅表示になります。

6. 標準付属品

●標準付属品

- ① 10穴コーン
- ② 8穴コーン
- ③ ウイングナット
- ④ タイヤパス
- ⑤ ウェイトプライヤー
- ⑥ アンカーボルト
- ⑦ 締め付けレンチ
- ⑧ 取扱説明書
- ⑨ 保証書

●オプション部品

- ① LTコーン
- ② PCセット【コーン(S・M・L・LL)・カップ・バックスプリング・
カラー(C1・C2) タイヤパス・ワンタッチナット】
- ③ ワンタッチナット

7.定期点検

(1)定期点検

期 間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
期間 3 ヶ月毎	先端軸	緩み	増し締めをする

(2)消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・磨耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部 品 番 号	販 売 単 位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト 460J12		1	1 / 1 台

8.故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上げ販売店に御相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれどもそのホイールだけが修正出来ない	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く

その他の症状について

(1) バランス修正ミス

(イン・アウトの修正位置が逆になっている。修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(300gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの取り付け位置のそれぞれによって1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

(1) 自己校正

- 自己校正はバランス修正が日常の使用でタイヤ・ホイールバランスが良好でない時に実施してください。
- TB・LTモードとPCモードを別々に行ってください。

TB・LTモード 操作手順

- ①TBホイールを balanサーに取り付けてください。
 - ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離してください。
 - ③リム径入力スイッチ () を押してください。IN側表示が【Pー1】となります。
 - ④TB／PC切替スイッチでTB・LTモードにします。
 - ④通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力してください。
 - ⑤スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【150】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に150g ウェイト1個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
 - ⑥回転が止まったらOUT側表示に【150】と表示されます。IN側の150g ウェイト1個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に150g ウェイト1個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- 回転が止まったら自己校正は完了です。
(操作が間違っていなければ balanサーの精度は正確に校正されます。)



注 意

OUT側に150gを取り付ける時は正確に取り付けてください。

PCモード 操作手順

- ①PCホイールのスチールホイールを balanサーに取り付けてください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム径入力スイッチ () を押して下さい。IN側表示が【Pー1】となります。
- ④TB／PC切替スイッチでPCモードにします。
通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力してください。
- ⑤スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【100】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50g ウェイト2個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- ⑥回転が止まったらOUT側表示に【100】と表示されます。IN側の50g ウェイト2個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50g ウェイト2個

を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。

回転が止まったら自己較正は完了です。

(操作が間違っていなければバランスの精度は正確に較正されます。)



注 意

OUT側に100gを取り付ける時は正確に取り付けてください。

(2) 軸アンバランス較正

●ホイールなど何も付けずにバランスを回転させて測定したときにアンバランスが表示される時は取付け誤差の原因となりますので次の方法で修正してください。

●TB・LTモードとPCモードを別々に行ってください。

TB・LTモード操作手順

- ① バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けないでください。
- ② スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【P-】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③ リム幅入力スイッチ () を押して下さい。IN側表示が【P-2】となります。
- ④ TB/PC切替スイッチでTB・LTモードにします。
- ⑤ OUT側表示が【001】と表示されます。
- ⑥ スタートスイッチを押して回転させてください。
- ⑦ 回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑧ 再度スタートスイッチを押して回転させてください。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

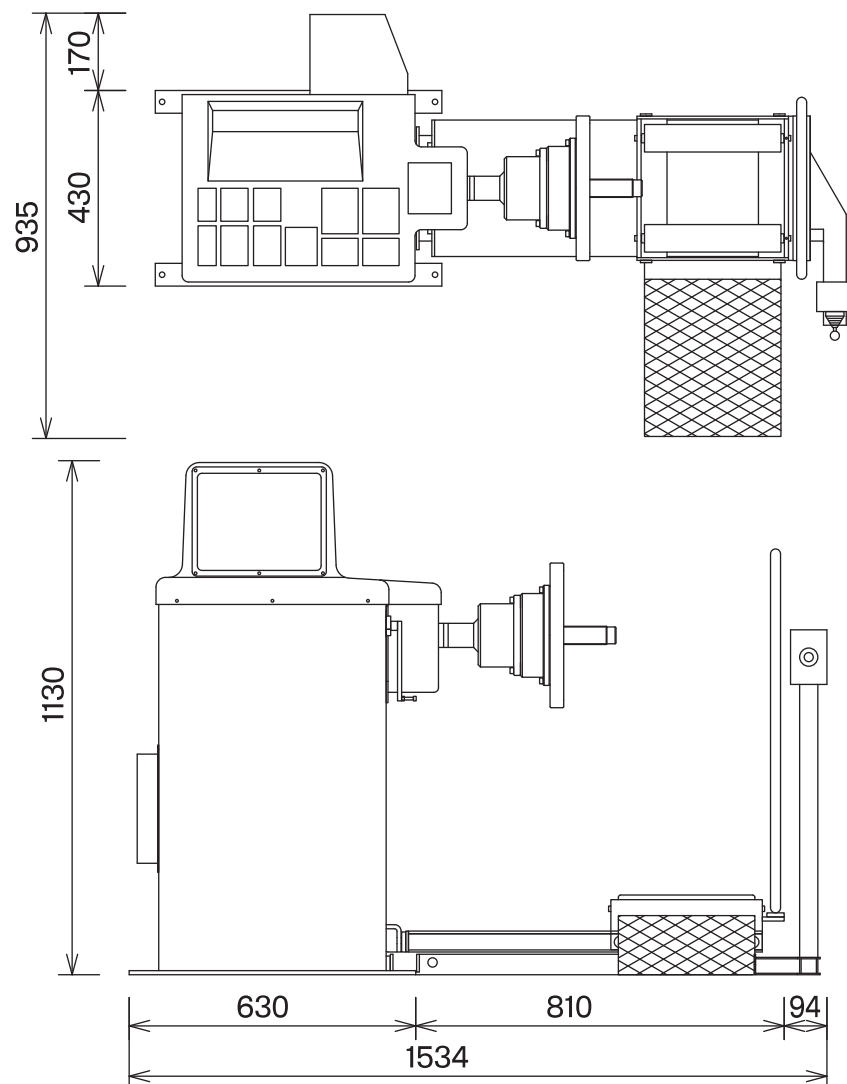
PCモード操作手順

- ① バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けないでください。
- ② スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【P-】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③ リム幅入力スイッチ () を押してください。IN側表示が【P-2】となります。
- ④ TB/PC切替スイッチでPCモードにします。
- ⑤ OUT側表示が【001】と表示されます。
- ⑥ スタートスイッチを押して回転させてください。
- ⑦ 回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑧ 再度スタートスイッチを押して回転させてください。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

9.仕様・本体寸法

型 式	TBm-517
電 源	3相 200V
モ ー タ ー	バルンサー：0.75kW4Pー0.38kW8P 極数変換 リフト：0.2kw
測 定 回 転 数	TB・LTモード：約180rpm (50/60Hz) PCモード：約360rpm (50/60Hz)
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定
適 応 リ ム 径	10" ～ 30"
適 応 リ ム 幅	2" ～ 20"
最 大 測 定 重 量	150kg
最大タイヤ外径	1200mm
測 定 範 囲 g	0～500g
本 体 重 量	約240kg

※ブレーカー容量：20A（3相 200V）



10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し、二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証致しません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した事故及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 e t c ）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

**このホイールバランスは屋外設置及び防水仕様にはなっておりませんので
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上げの販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承下さい。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますのでお買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社名 担当者
	住所 電 話
設 置 業 者	社名 担当者
	住所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 ホイール balans ー

型 式 **TBm-517**

初 版 発 行 月 日	平 成 2 6 年 5 月 1 日
-------------	---------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-------------------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

営業所／札幌	☎(011)791-8588	名古屋	☎(052)354-1021
仙台	☎(022)255-7408	大阪	☎(06)6701-7315
秋田	☎(018)800-2556	福井	☎(0778)21-0335
東京	☎(03)5970-6011	広島	☎(082)943-8455
新潟	☎(025)281-8251	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。